

平成30年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	北海道・釧路命名150年武四郎まつり実行委員会
事業名	北海道・釧路命名150年武四郎まつり
課題テーマ	地域を担う人材育成
事業提案の背景	<ul style="list-style-type: none"> 北海道及び11国86郡名制定により釧路命名150年 幕末の蝦夷地探検家、松浦武四郎生誕2百年 北海道150年事業の全道展開
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 松浦武四郎の偉業を讀える。 武四郎を通し、釧路地域の連携ネットワークを構築する。 武四郎の釧路における功績と活動の意義を考える。 次世代に武四郎スピリットを繋げる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「資料展」を開催し、久摺の地を探訪した記録『久摺日誌』を掘り起こした資料展示。さらに識者によるリレー式講演などで釧路地域における武四郎の活動を知る機会をつくり、この地域の可能性を市民と共に考える。 松阪市民やアイヌ民族との文化交流イベントを開催する。武四郎を縁として、歌や踊り、様々な文化活動をまつりイベントで開催し、交流ネットワークを広げる。
事業展開	<ol style="list-style-type: none"> 偉業を讀える「資料展」を三重県松阪市の松浦武四郎記念館と連携し、2018年7/28～8/5 釧路市中央図書館の図書館行事との共催で開催した。 出生地の松阪市との市民交流やアイヌ民族との文化交流を歌、踊り、グルメなど祭りを交流の輪を広げるため、まなトピア事業に参画し開催した。 松浦武四郎の活動をリスペクトする市内の関連イベントと共同告知や相互事業のPRなどネットワークでメモリアルイヤーを盛り上げた。
成果目標の達成状況	「資料展」（講演を含む）9日1,887名 「祭りイベント」1日約500名 合計2,387名
波及効果の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 武四郎の釧路に対する評価の再認識（「観光」など）を通し、観光交流活動の促進や地域経済活動につながる教養を高め次世代の人材育成に寄与した。
実施体制	実行委員会形式。関連イベントとのネットワーク連携。産官学民による協働体制。
連携した市担当課	無 ・有（観光振興部観光振興室、生涯学習部生涯学習課）

連携した市担当課が 果たした役割 (※有の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流促進：「拡げよう武四郎の輪」名古屋便を軸にした中部圏との観光交流振興策の展開。 ・武四郎関連事業（「わらび座」公演等）との連携。
--------------------------------	--

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	200,000	鉦路市
北海道振興補助金	500,000	北海道
寄付金	151,917	松浦武四郎北海道友の会
協賛金	90,000	5団体
受取利息	1	普通預金利息
合 計	941,918	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
資料展関係費（委託料）	516,800	資料展パネル地図等資料 246,800、地図・映像制作 270,000
資料展関係費（使用料・賃借料）	3,376	転載用記事利用料 2,376、サイコロレンタル料 1,000
資料展関係費（消耗品費）	4,315	事務消耗品
資料展関係費（役務費）	432	振込手数料
祭りイベント関係（委託料）	70,000	音響設備一式 50,000、映像制作 20,000
祭りイベント関係（謝礼）	94,000	出演者謝礼（71,000は対象外経費へ）
総務費（印刷製本費）	14,700	チラシ印刷 12,920、コピー代 1,780
総務費（消耗品費）	31,949	松阪物産購入、ラミネートフィルム、クリアブック等
総務費（使用料・賃借料）	1,410	作業室使用料
総務費（委託料）	12,500	写真アルバム作成費
総務費（旅費）	13,000	交通費
総務費（役務費）	6,078	振込手数料 972、郵送料 5,106
小 計	768,560	
対象外経費		
総務費（役務費）	358	郵送料
祭りイベント関係	71,000	出演者謝礼（94,000（全体事業費の1

(謝礼)		割) は対象経費へ)
総務費 (謝礼)	102,000	講演者謝礼等 (48,000、54,000)
小計	173,358	
合計	941,918	